

第5章

めざす姿に向かって

～立ち位置の確認とこれからの伸びしろ～

Contents

1 注指標の設定～立ち位置の確認～	151
2 注指標と「県内総時間」～これからの伸びしろ～	151
3 「県内総時間」を伸ばす視点	156

1 注目指標の設定 ～立ち位置の確認～

計画期間中における様々な環境変化の中で、本県が総合的かつ相対的にどのような位置にあるか、また「めざす姿」に向かって進んでいるかという立ち位置を確認するために、注目していくべき指標(注目指標)として次の2つを掲げます。

1 人当たり県民所得*

農林水産業や製造業、建設業、サービス業など各産業の経済活動や給与などの所得の状況など、様々なデータを基に作成されているものであり、県経済の状況を総合的かつ的確に表す指標として設定します。

※1人当たり県民所得：県民雇用者報酬、企業所得、財産所得などの合計を総人口で割ったものです。企業所得を含む地域全体の付加価値を子どもや高齢者も含む総人口で割ったものであり、個人の給与所得を示すものではありません。

平均寿命

健康、医療面の水準だけではなく、経済状況、労働環境、生活環境など様々な要素が関係していることから、県の保健・医療・福祉分野を始めとした社会生活全般の立ち位置を総合的かつ的確に表す指標として設定します。



2 注目指標と「県内総時間」～これからの伸びしろ～

「青森県基本計画未来への挑戦」では、計画策定からおおむね10年後に2005年度の1.5倍程度の水準に向かって上昇していることをめざすとした1人当たり県民所得、及び全国順位のアップをめざすとした平均寿命を立ち位置を確認するための指標として設定しました。

この計画における注目指標の設定に当たっては、立

ち位置を見るだけではなく、人口減少が進む中で、これからの伸びしろをどのように獲得していくかという視点から注目指標を捉えることとします。

そこで、平均寿命が延びることによる効果について、時間に着目した伸びしろを「県民総時間」と「県内総時間」という考え方をを用いて次のように整理してみます。

「県内総時間」

青森県民であるなしにかかわらず、青森県という一定の地域で一定の期間に使われる時間
 = 県民が県内で使う時間(「県民総時間」) + 県外からの来訪者などの滞在時間

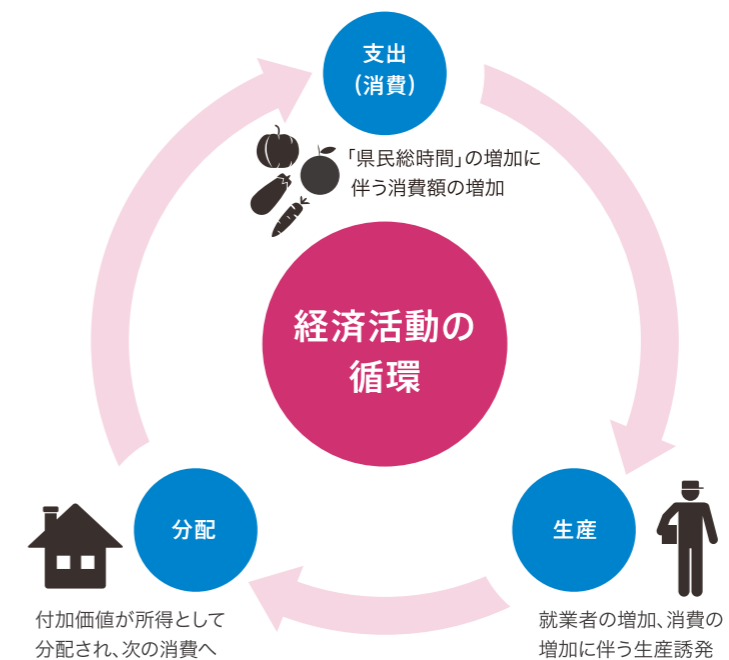
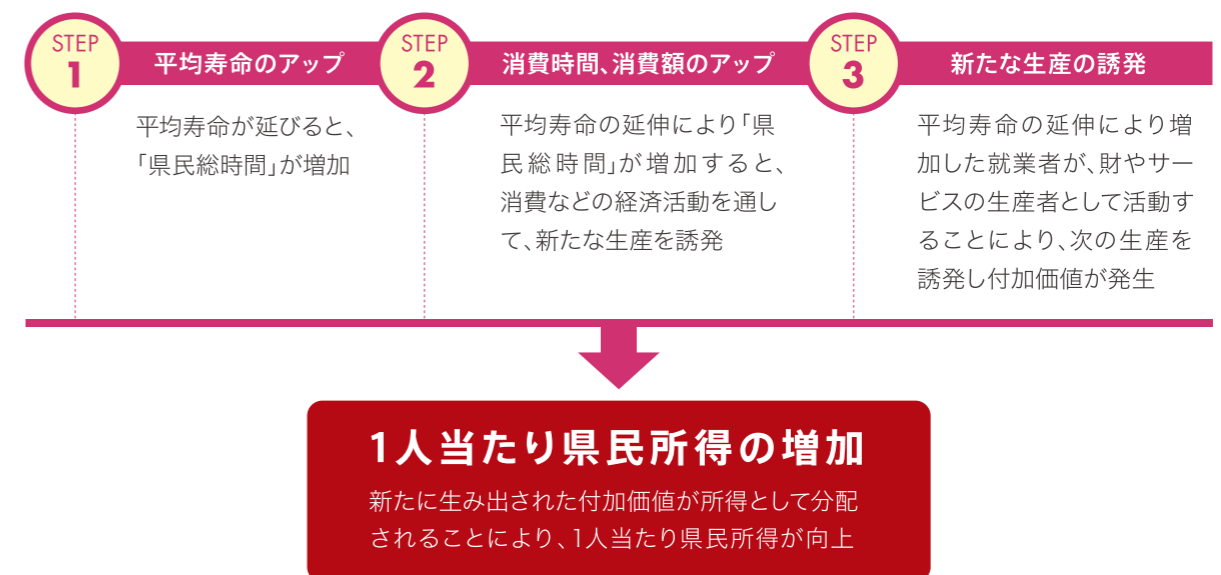
1 「県民総時間」がつなぐ平均寿命と1人当たり県民所得

県民が県内で使う時間である「県民総時間」から、平均寿命と1人当たり県民所得の関係を見てみます。図1

- ①平均寿命が延びると、まずは「県民が県内で使う時間(これを「県民総時間」と呼びます。)」が増加すると考えられます。
- ②平均寿命の延伸により「県民総時間」が増加すると、その間の経済活動による消費を通して、新たな生産が誘発されます。

- ③消費だけではなく、平均寿命の延伸は就業者数の増加にも寄与します。就業者が財やサービスの生産者として活動することにより、次の生産を誘発し付加価値を生みます。
- ④最終的に、消費による生産波及や生産活動を通じて新たに生み出された付加価値が所得として分配されることにより、1人当たり県民所得の向上をもたらします。

図1 平均寿命の延伸と経済活動の循環のイメージ

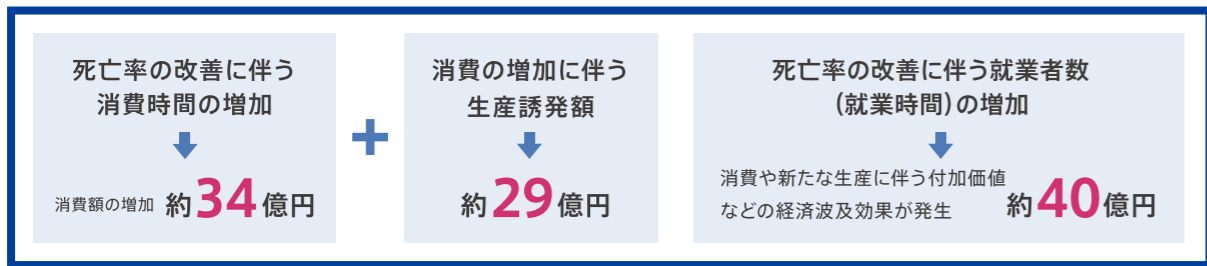


第1章では、本県の平均寿命が他都道府県と比べて短いという現状を指摘していますが、ここでは男女とも平均寿命がトップの長野県との比較から、本県経済に与える影響を試算してみます。

本県の年齢階級別死亡率が長野県と同じになったと仮定した場合の死亡数の変化から、消費面を中心とした影響を見てみます。図2

図2 死亡率の改善が県経済に与える影響(試算)

男性				女性				男女合計の死亡数の差	平均寿命の延伸に伴う経済活動が発生
年代	青森県死亡数実数(①)	長野県の死亡率適用(②)	(①)-(②)	年代	青森県死亡数実数(①)	長野県の死亡率適用(②)	(①)-(②)		
0～4歳	18	15	3	0～4歳	14	10	4	7	主として消費により経済活動を支える世代
5～9歳	6	3	3	5～9歳	3	1	2	5	
10～14歳	5	2	3	10～14歳	2	1	1	4	
15～19歳	15	12	3	15～19歳	7	3	4	7	
20～24歳	21	17	4	20～24歳	9	7	2	6	主として就業により経済活動を支える世代
25～29歳	29	27	2	25～29歳	10	11	-1	1	
30～34歳	44	32	12	30～34歳	28	13	15	27	
35～39歳	49	45	4	35～39歳	23	22	1	5	
40～44歳	97	61	36	40～44歳	38	33	5	41	消費や就業などにより経済活動を支える世代
45～49歳	176	85	91	45～49歳	73	46	27	118	
50～54歳	223	135	88	50～54歳	121	91	30	118	
55～59歳	430	261	169	55～59歳	193	139	54	223	
60～64歳	638	423	215	60～64歳	274	195	79	294	
65～69歳	725	460	265	65～69歳	327	232	95	360	
70～74歳	1,006	704	302	70～74歳	511	408	103	405	
75～79歳	1,555	1,128	427	75～79歳	942	762	180	607	
80～84歳	1,646	1,291	355	80～84歳	1,256	1,120	136	491	
85歳～	1,869	1,654	215	85歳～	3,647	3,487	160	375	
計	8,552	6,355	2,197	計	7,478	6,581	897	3,094	



就業者数(時間)、消費時間の増加は、それぞれ新たな生産を誘発し、所得として分配され、1人当たり県民所得の増加に寄与

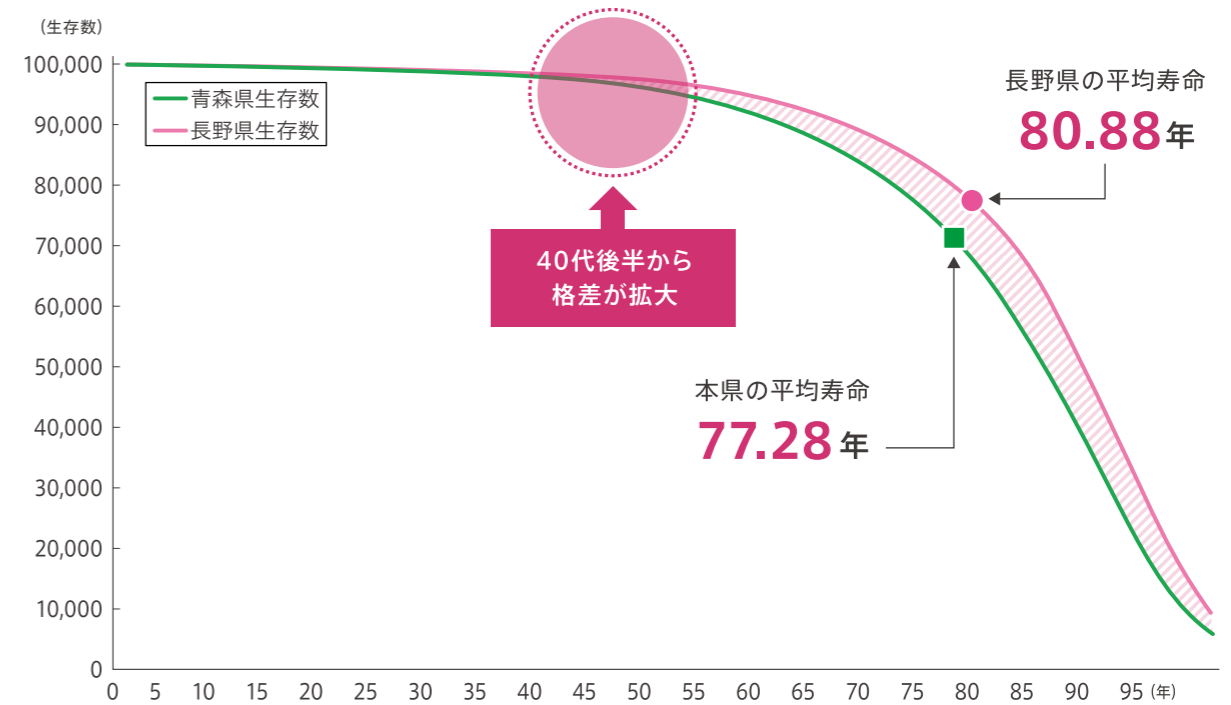
- 死亡数3,094人が生存した場合の1年間の消費額
3,094人×1,092,000円(※)≒33億7,860万円
※1か月の1人当たり消費支出を91,000円と推計(平成24年家計調査・青森市)
- 消費の増加に伴う生産誘発額、就業者の増加による経済波及効果は、平成17年青森県産業連関表を使用

このように、時間の概念で捉えることで、2つの注目指標は独立したものではなく、相互に関連したものとなります。

なお、増加した時間の質的な向上という視点からは、平均寿命だけではなく健康寿命(健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間の平均)も意識する必要があります。

平均寿命は、各年齢階級の死亡状況を反映させたものであることから、平均寿命が延伸することは各年齢の生存者数の増加につながり、比較的若い世代の死亡率が高い本県においては、生産年齢人口の増加に直接寄与することになります。図3

図3 生存曲線(男性)



資料:厚生労働省「平成22年生命表」

2 伸びしろをより大きくする「県内総時間」

支出(消費)、生産、分配という経済活動の循環を拡大させる視点から、県民が県内で使う時間である「県民総時間」に加えて、県外からの来訪者などが県内で過ごす時間にも着目することができます。観光やビジネス、移住、二地域居住などによる交流人口の増加は、県外から様々な目的で訪れた来訪者が県内に滞


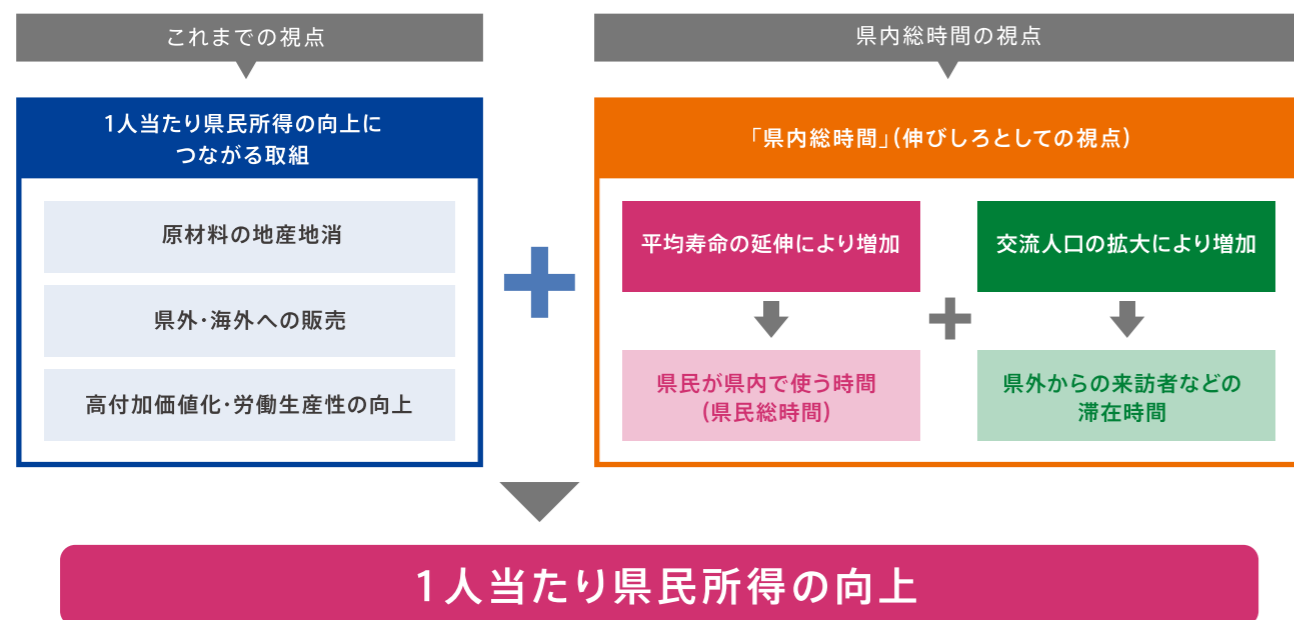
在した時間として、「県民総時間」同様、青森県という地域で使われる時間と考えることができます。この「県外からの来訪者などの滞在時間」と県民が県内で使う時間である「県民総時間」を合わせた「県内総時間」が増えることで、2つの注目指標の伸びしろをより効果的に獲得することができると考えられます。 

図4 県民所得向上のための新たな視点





これまでの県民所得向上に向けた各分野の取組を進めていくことに加えて、平均寿命が他都道府県よりも短いことにより失われている時間を平均寿命の延伸により獲得していくという考え方が「県民総時間」であり、その伸びしろをより大きなものとするために、交流人口拡大の視点を加えたものが「県内総時間」となります。

県外からの来訪者などの滞在時間について更に広範囲に捉えると、それぞれの居住地に帰った後も、本県での体験を様々なツールを用いて発信する時間や、本県の産品などの購買に充てる時間など、国内外で、いわゆる「本県とつながる時間」の効果も期待されます。

3 「県内総時間」を伸ばす視点

「県内総時間」は、平均寿命の延伸や交流人口の拡大により、1人当たり県民所得の向上をめざす県を挙げた総合的な取組のシンボルとして設定するものです。

「県内総時間」を伸ばしていくためには、次の項目が向上・改善するような取組を進めていくことが必要です。  

「県内総時間」を伸ばすことにつながる項目の代表例

表1 県民総時間

項目	着目点
がん、心疾患などの年齢調整死亡率	平均寿命の延伸に影響
不慮の事故による死亡率	
自殺による死亡率	
成人の肥満者の割合	生活習慣病発症に影響
喫煙率	
食塩摂取量	
一日当たり歩数	
野菜摂取量	
飲酒習慣者の割合	生活習慣病の早期発見・予防
特定健康診査等実施率	
肥満傾向児出現率	児童生徒の健康状態
出生数	出生の動向

表2 県外からの来訪者などの滞在時間

項目	着目点
観光入込客数	県外からの来訪者数(日帰り、宿泊別)
県内宿泊施設の宿泊者数	宿泊者数
平均宿泊日数	宿泊者の動向
修学旅行生数	教育旅行による来訪者数
県内空港利用者数	国内外からの来訪者数
外国人宿泊者数	海外から訪れる来訪者数
外国クルーズ客船寄港数	海外からの来訪者の動向